

中央環境審議会 総合環境政策部会

第22回 環境研究・技術開発推進戦略専門委員会

新たな「環境研究・環境技術開発の 推進戦略（案）」の概要

2024年5月30日





環境研究・環境技術開発の推進戦略（案） 概要と構造

推進戦略フォローアップ

関係機関 ヒヤリング等

I 令和4年度
フォローアップ結果報告書

I



IV



(6) 環境研究における共通課題

学際・超学際の研究（人文・社会科学と自然科学などの
国際・国内の課題に統合的に取り組む研究
領域にまたがる研究提案が排除されないような配慮

最新動向・新規知見の取り込み

第六次環境基本計画 (令和6年5月21日閣議決定)

5. 「新たな成長」を支える
科学技術・イノベーションの
開発・実証と社会実装

第6期科学技術・ イノベーション基本計画 (令和3年3月26日閣議決定)

統合イノベーション戦略2023
(令和5年6月9日閣議決定)

科学技術・イノベーション
政策の3つの基軸

環境研究・環境技術開発の推進戦略

(令和6年7月頃環境大臣決定予定)

I 研究・開発

IV 知の基盤

人材育成

科学的知見に基づく**政策決定**や
統合的な**課題解決**の
基盤となる研究・開発等の推進

開発・実証・普及
経済、国土、地域、
暮らし、**II** 国際

イノベーション、先端科学技術

III スタートアップ

「新たな成長」を支える
最先端の環境技術等の
開発・実証と社会実装の推進

新たな「推進戦略」の概要と構造（案）

第1章 環境を巡る政策動向や社会の現況

第2章 目指すべき社会像と環境分野の研究・技術の在り方

1. 中長期的（～2050年頃）に
目指すべき社会像

2. 環境研究・技術開発における国及び
各主体の役割と施策展開の在り方

全般（統合領域）

気候変動領域

資源循環領域

自然共生領域

安全確保領域

国など各主体に
期待される役割

研究・技術開発課題の
設定と統合的な解決に
向けた施策展開の在り方

第3章

課題の設定

環境分野の研究・技術開発 および社会実証・実装に係る課題

1. 重点的に取り組む
べき研究・技術
開発課題 **I** (重点
課題) の設定

2. 「新たな成長」を
支える科学技術・
イノベーションの開発・
実証と社会実装の課題

3. 地域での環境
分野の研究や
課題解決
における課題

4. 環境研究の
中核機関としての
国立環境研究所が
取り組むべき課題

第4章

課題解決に向けた施策展開

環境分野の研究・技術開発および 社会実証・実装の効果的な推進方策

1. 環境研究・
技術開発の
核となる環境研究
総合推進費の
効果的な実践

2. 科学技術・
イノベーションの
開発・実証と
社会実装の方策

II 国際標準化の推進

III 環境スタートアップ支援

3. 環境研究・
課題解決に
おける
地域拠点の
役割強化

4. 環境研究の中核
機関としての
国立環境研究所の
役割強化

IV 環境研究共創拠点



環境研究・環境技術開発の推進戦略（案） 目次（5/30時点）

はじめに

第1章 環境を巡る政策動向や社会の現況

第2章 目指すべき社会像と環境分野の研究・技術開発の在り方

1. 中長期的（～2050年頃）に目指すべき社会像

- (1) 全般（統合領域）
- (2) 気候変動領域
- (3) 資源循環領域
- (4) 自然共生領域

2. 環境研究・技術開発における国及び各主体の役割と施策展開の在り方

- (1) 国など各主体に期待される役割
- (2) 研究・技術開発課題の設定と統合的な解決に向けた施策展開の在り方

第3章 環境分野の研究・技術開発及び社会実証・実装に係る課題

I 1. 重点的に取り組むべき研究・技術開発課題（重点課題）の設定

2. 「新たな成長」を支える科学技術・イノベーションの開発・実証と社会実装の課題
 - (1) 政策決定や課題解決の基盤となる環境情報・科学的知見の重要性と課題
 - (2) 科学技術・イノベーションを社会実装していく上での課題
3. 地域での環境分野の研究や課題解決における課題
4. 環境研究の中核機関としての国立環境研究所が取り組むべき課題

第4章 環境分野の研究・技術開発及び

社会実証・実装の効果的な推進方策

1. 環境研究・技術開発の核となる

環境研究総合推進費の効果的な実践

- (1) 各領域の重点課題を解決するための具体的な施策例
- (2) 研究・技術開発成果の最大化等に向けた環境研究総合推進費の制度改善

2. 科学技術・イノベーションの開発・実証と社会実装の方策

II (1) 環境情報整備や科学的知見の集積及び戦略的な国際ルール形成の推進

- (2) 環境・経済・社会を統合的に向上させる環境研究・技術開発の社会実装方策

III (3) イノベーションの担い手としての環境スタートアップの支援方策

3. 環境研究・課題解決における地域拠点の役割強化
4. 環境研究の中核機関としての国立環境研究所の役割強化
 - (1) 環境・経済・社会の統合的向上をも見据えた統合的な研究の先導
 - (2) 社会実装につながる研究開発の推進
- IV (3) 外部機関との連携・協働、研究開発成果のアウトリーチ
- (4) 国際的な連携の推進

5. 推進戦略の実施状況に関するフォローアップの実施

別紙Ⅰ：重点課題ごとの研究・技術開発例



第3章 1. 重点的に取り組むべき研究・技術開発課題（重点課題）の設定 ①

新たな「推進戦略」における重点課題の主要な変更ポイント

現行の推進戦略 重点課題

新規 重点課題（案）

1) 統合領域

- A：現行①～③を統合し、第六次環境基本計画のビジョン・理念を提示・実現する：新重点課題①
 B：「地域循環共生圏」の実現に向けて、人文・社会科学をも含む総合知の活用による、環境・経済・社会の統合的向上を具体化する研究・技術開発として新重点課題②を設置
 C：ネット・ゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブ等といった複数の課題の同時解決、課題間のトレードオフを解決するための研究・技術開発として新重点課題③を設置
 D：現行④に資する研究・技術開発は各領域・重点課題で対象となり得ることから削除
 E：現行⑥から海プラ以外も含めた国際的な枠組みへの貢献や国際ルール形成の対象領域の拡張等：新重点課題⑤

※第六次環境基本計画 等
 ・持続可能な社会を実現すべく、環境的側面、経済的側面、社会的側面を統合的に向上
 ・「ウェルビーイング／高い生活の質」につながる経済社会システムが実現

① 持続可能な社会の実現に向けたビジョン・理念の提示

② ビジョン・理念の実現に向けた研究・技術開発

③ 持続可能な社会の実現に向けた価値観・ライフスタイルの変革

④ 環境問題の解決に資する新たな技術シーズの発掘・活用

⑤ 災害・事故に伴う環境問題への対応に貢献する研究・技術開発

⑥ グローバルな課題の解決に貢献する研究・技術開発
 (「海洋プラスチックごみ問題への対応」)

① 持続可能な社会の実現に向けた
 ビジョン・理念の提示及びその実現

② 環境・経済・社会の統合的向上

③ ネット・ゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブの**同時解決**

—

④ 災害・事故に伴う環境問題への対応

⑤ **グローバルな課題の解決及び国際協調・国際競争力の強化**

2) 気候変動領域

・現重点課題⑦～⑨の内容から大きく変更せず、
 内容について見直した上で、新重点課題⑥～⑧として継続

⑦ 気候変動への緩和策に係る研究・技術開発

⑧ 気候変動への適応に係る研究・技術開発

⑨ 地球温暖化現象の解明・予測・対策評価

※「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」等
 ・「2050 年カーボンニュートラル」を実現。
 ・「Society5.0」により、デジタル化を通じて、エネルギー、モビリティ等の分野を超えた相互作用を通じて気候変動対策に貢献

⑥ 気候変動緩和策

⑦ 気候変動適応策

⑧ 地球温暖化現象の解明・予測・対策評価

第3章 1. 重点的に取り組むべき研究・技術開発課題（重点課題）の設定 ②

新たな「推進戦略」における重点課題の主要な変更ポイント

現行の推進戦略 重点課題

3) 資源循環領域

・現重点課題⑩～⑫の内容から大きく変更せず、各重点課題名と内容について見直した上で、新重点課題⑨～⑪として継続

- ⑩ 地域循環共生圏形成に資する廃棄物処理システムの構築に関する研究・技術開発
- ⑪ ライフサイクル全体での徹底的な資源循環に関する研究・技術開発
- ⑫ 社会構造の変化に対応した持続可能な廃棄物の適正処理の確保に関する研究・技術開発

4) 自然共生領域

・現重点課題⑬～⑭の内容から大きく変更せず、各重点課題名と内容について見直した上で、新重点課題⑫～⑬として継続

- ⑬ 生物多様性の保全に資する科学的知見の充実や対策手法の技術開発に向けた研究
- ⑭ 生態系サービスの持続的な利用やシステム解明に関する研究・技術開発

5) 安全確保領域

F：現重点課題⑯は他領域よりも行政要請研究テーマ（行政ニーズ）提示数が多いため、新重点課題⑮⑯に分割

- ⑮ 化学物質等の包括的なリスク評価・管理の推進に係る研究
- ⑯ 大気・水・土壌等の環境管理・改善のための対策技術の高度化及び評価・解明に関する研究

新規 重点課題（案）

※第五次循環型社会形成基本計画
 ・資源循環のための事業者間連携によるライフサイクル全体での徹底的な資源循環
 ・多種多様な地域の循環システムの構築と地方創生の実現が達成
 ・適正な国際資源体制の構築と循環産業の海外展開の推進が達成 等

⑨ 地域循環共生圏形成に資する廃棄物処理システムの構築

⑩ ライフサイクル全体での徹底的な資源循環

⑪ 社会構造の変化に対応した持続可能な廃棄物の適正処理の確保

※生物多様性国家戦略2023-2030
 ・生物多様性が評価され、保全され、回復され、賢明に利用され、生態系サービスが維持され、健全な地球が維持され、すべての人々にとって不可欠な利益がもたらされる「自然と共生する世界」が実現

⑫ 生物多様性の保全に資する科学的知見の充実や対策手法の技術開発

⑬ 生態系サービスの持続的な利用やシステム解明

※「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」等
 ・「2050 年カーボンニュートラル」を実現
 ・「Society5.0」により、デジタル化を通じて、エネルギー、モビリティ等の分野を超えた相互作用を通じて気候変動対策に貢献

⑭ 化学物質等の包括的なリスク評価・管理の推進

⑮ 大気等の環境管理・改善のための対策技術の高度化及び評価・解明

⑯ 水・土壌等の環境管理・改善のための対策技術の高度化及び評価・解明

